

2014年度学校評価結果と2015年度目標

2015年3月
恵泉幼稚園

1. 本園の教育理念・教育目標・教育方針

恵泉幼稚園は、高橋誠一が、「神は愛である」というキリスト教の教えに立ち、1935年（昭和10年）に設立した幼稚園です。幼いときに、自分が愛され、守られていることを感じることができ、幼児の豊かな心、健康な体、考える力を育みます。生きる力の基礎を培い、子どもとともに、育ち合う園であり続けます。

【教育目標】

意欲のある子ども
思いやりのある子ども
感性豊かな子ども
感謝できる子ども を目指します。

【教育方針】

一人ひとりの個性を生かし、興味・関心に合った環境を作る
ありのままの自分が受け入れられていることを知り、遊びを中心とした生活の中で思いやる心を育てていく
自然豊かな広い園庭で、季節に触れ、美しさや尊さを感じる
祈りを通して、神様に愛され、守られ、たくさんの恵みを与えられていることに感謝する心を育てる

2. 2014年度の振り返りと2015年度重点的に取り組む目標・計画

【2014年度、重点的に取り組む目標・計画（以下）】を振り返りました。

・思いっきり遊ぶ時間を保障し、内面に育っているそれぞれの力を大切にし、豊かな成長に繋げていく。

遊びたいことに没頭し「面白い・楽しい・またやりたい・新しい遊びが生まれるわくわく感、思い通りにいかないことや失敗」そのような経験が十分にできることは、子どもの内面に自尊感情が芽生え、いろいろな考え方や見方があることを知っていきます。また、物事にしっかり向き合おうとする態度や意欲、探究心、創造的な想像力をかきたて、子どもらしい生き生きとした姿を伸ばしていくことに繋がります。

2014年度、幼児教育では基本的な視点「遊びは学び」を重点目標にあげました。何となく遊んで終わる一日ではなく、成長発達を促し、子どもが真の満足を感じ、そして人としての学びになる経験つまり、幼児期にしかできない体験を遊びの中で積み上げていけるようにしっかり捉え、「子どもの成長が主役になる園生活」の充実を考える一歩になりました。

・年少組：お友だちと一緒に遊んだり、生活する楽しさを感じていく。

この目標は幼稚園と家庭の違いの中で、幼稚園は「皆でやれば楽しいことを知っていく場であり、社会性を学ぶ場」であるという基本的な考えから導き出したものです。幼稚園の教育を2年、3年の連続の中で一人ひとりの成長を支えていくという方針も捉え、初めて集団生活を送る年少・年中の新入園児に教師が意識して取り組むことができました。その結果、葛藤を経験しながら、友だちと一緒に園生活を喜んでいます。進級でクラス替えはあるものの新しい出会いに期待を持ち、前向きにおうちの方と共に成長を喜び合えると実感しています。

【2015年度、重点的に取り組む目標・計画】

- ・幼稚園生活の連続性を視野に入れ、成長を積み上げられていかれるような経験をし、育ちを見届けていく。そのために、2014年度に重点的に取り組んだ目標を再構築して取り上げていく。
- ・遊べる時間・空間・仲間との関係を保障し、遊びをとおしての総合的な成長を促す。(たくさん遊ぶ)
- ・年少組：お友だちと一緒に遊んだり、生活する楽しさを感じていく。新入園児なので、初めの一步を丁寧に見ていく。

3. アンケート結果の取組み

評 価 項 目	取 組 み 状 況
<p>「おうちの方へのアンケート」を実施。評価項目別に採点を集計し、意見、要望をまとめた。</p>	<p>今、子どもを取り巻く社会や家庭の環境は、幼稚園の創立当時とは大きく変わりました。その変化の中にあるからこそ、恵泉幼稚園のあるべき姿と教育を「創立者の信念」から見つめ直し、考えていくことが重要であると思います。</p> <p>創立者は「幼稚園だけでは決して完全な幼児教育はできない。幼稚園の教育は家庭における幼児教育と連携を取って協力してゆかねばならない」と述べています。</p> <p>恵泉幼稚園は、子どもたちが人格形成の基礎を作る時期に自分を大切にし、他者を認める寛大さや他者を気遣う思いやり、そして人のために尽くすことの喜びを感じる経験を「育ち合う」場で重ね、そのような人になることが大事であると生涯において知ってほしいと願っています。</p> <p>それは目に見えるものではありませんが、真心となって生き、その温かいまなざしやささやかな行いを喜んでくれる人がいることに感謝の気持ちを抱くことでしょ</p>

	<p>う。そして、それは子どもだけに求めるものではなく、大人となっても私自身の精神と行いに注ぎ、努力をしていかなければならないと受け止めています。</p> <p>2014年度は、おうちの方に、子どもの成長の姿や園生活・保育の意味や思いを十分に伝えられなかったことに反省が残りました。そのことを踏まえ、2015年度は、「幼稚園と家庭が心の育ちへの願いを持ち、それぞれの役割を果たす」ために、子どもたち一人ひとりのよさを認め、子どもたちが自分に自信が持てるように支えていくことを大事にしていきたいと思っています。</p> <p>そしてその連携が、子どもたちの将来の人との関わりや意欲に生かされていくように、みんなが成長を実感できる環境を整え、相互の連携を築いていきたいと考えています。</p>
<p>教員の自己評価を実施。</p>	<p>「教員自己評価シート」をもとに、自らを振り返りました。良い点は伸ばし、十分ではない点は改め、各自が新年度、向上していけるように努めます。</p>